

地域医療における看護の質向上を目指した 実践及び研究の協働事業

(事業代表者:毛利聖子)

本事業は、県内の看護の質向上を目指して、
ナイチンゲール看護論を基軸とした事例検討会および研究支援を行いました。

▶ 学会発表

「看護管理者の成長のプロセス

～ナイチンゲール看護論を軸とした事例検討会を行って～」

▶ 西都児湯地区の事例検討会

西都児湯医療センター（7月：12名参加・11月：16名参加）

* 周辺地域の訪問看護ステーションの参加もありました。



第28回日本看護管理学会学術集会

▶ アドバイザー派遣事業

平和台病院「看護を語る会」の事例検討会
(5月：20名参加、10月：18名参加)

【参加者のアンケートより(一部抜粋)】

- ・意見やアドバイスもあり、この方の病態や健康段階は描きやすくなり、患者の持てる力やその人らしさを知ることができた。今後とも一緒に事例展開し、患者さんの可能性について発見していきたい。
- ・看護を語る、振り返る場合は、自分自身の看護の力になり、やりがいに繋がっている。
- ・立体像を書くことで患者を取り巻いているもの全てが繋がりに、私たちがどこに手を伸ばせばよいか、糸口を見出すことができた。